自主プログラム

12 月 19 日（土）午後

S-01　チームの“いい感じ”を育む対話　－わたしたちのウェルビーイングカードを体験してみよう－
　代表者　原 敬　（社会医療法人清和会 西川病院）

S-02　PPI について語り合おう！～精神障害リハビリテーション研究における「共同創造」の可能性～
　代表者　川口 敬之　（国立精神・神経医療研究センター）

S-03　「ウェルネスアプローチ」と「リカバリーアプローチ」
　　～両アプローチから考える日本の精神科リハビリテーション～
　代表者　藤澤 希美　（横浜市立大学 医学部 看護学科）

S-04　多様であることが認められる対話の場のデザイン
　　ーケアミーティング・ピアサポート・ヒューマンライブラリーの活動から学ぶー
　代表者　栄 セツコ　（桃山学院大学 社会学部）

S-05　精神障害当事者の「親亡き後」の地域での暮らしを自分事として考える～8050 の「50」集まれ～
　代表者　佐々木 理恵　（精神保健領域なかま活動 と・い・ろの会）

S-06　楽しみながら認知機能を活性化！運動×認知の多重課題プログラム MCAT の実践と体験
　代表者　木納 潤一　（医療法人鴻池会 秋津鴻池病院）

S-07　「メンタルヘルスのまちづくり」～利他性とダイアローグについて考えるⅡ～
　代表者　須藤 康宏　（医療法人社団 メンタルクリニックなごみ）

S-08　入院者訪問支援事業の未来～実践者と共に話し合う～
　代表者　木本 達男　（岡山市こころの健康センター・おかやま精神医療アドボケイトセンター）

S-09　あなたは目の前の人をどう見ていますか？ ―支援における「精神障害フィルター」を体験的に考える―
　代表者　中村 義幸　（MIRAI Station 株式会社 MIRAI 訪問看護ステーション）

S-10　Taking Action の紹介 ―日本での緩やかな広がりを目指すための実践報告―
　代表者　五ノ坪 洋孝　（一般社団法人森緑会 ねこのて訪問看護ステーション）

S-11　パーソナル・メディスンがもたらした変化と魅力―5 人の経験談から一緒に学んでみませんか―
　代表者　大門 彩香　（日本女子大学大学院人間社会研究科社会福祉学専攻博士課程後期・こころのおまもり）

S-12　精神障害者スポーツの現状と今後の在り方の検討－リカバリーとしてのスポーツ－
　代表者　坂井 一也　（星城大学）

S-13　弁護士と地域移行支援事業との連携による退院支援の可能性
　代表者　鷹子 剛　（一般社団法人 Q-ACT）

S-14　リフレクティングの体験－会話空間に豊かな「間」と「場」をつくること－
　代表者　西池 絵衣子　（兵庫県立大学 看護学部）

S-15　強みを活かして、働く選択肢を広げる就労支援 ―多様な企業・コミュニティとの協働から―
　代表者　小島 拓也　（株式会社 MIRISE）

S-16　誰もが安心して受けられる精神科医療を考える～性的マイノリティの視点から～
　代表者　松本 武士　（にじいろリハネット・名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻 博士後期課程）

S-17　日本での「リカバリー」を実現するときの見落とせないものは何だろう？
　　―ワークショップを通して探求する―
　代表者　武井雅風（juna）

S-18　人権と安全をつなぐ精神障害者の自動車運転支援～日本における実装可能性を探る～
　代表者　岡田 宏基　（兵庫医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科）

12 月 20 日（日）午前

S-19　「精神科訪問看護はなにをしてくれるのか？」 ―地域生活を支える実践と役割を問い直す―
　代表者　木挽 秀夫　（こころの訪問看護ステーションひまわり）

S-20　私たちは子どもとどう向き合っているのか？
　　～医療・デイケア・ピア・対話の現場から考える児童思春期支援～
　代表者　堀越 翔　（医療法人すこやか ほりこし心身クリニック）

S-21　「不本意な現実」から抜け出すヒントはここに！～ザ・メンタルモデルと U 理論で考えるリカバリー～
　代表者　北山 彩乃　（医療法人糸逢会 ともこころのクリニック）

S-22　不調時の対応の選択肢を増やそう！―感覚アプローチを活用した支援の実践―
　代表者　服部 朝代　（地方独立行政法人　岡山県精神科医療センター）

S-23　ピアスタッフと考える「駅前ふらっと」―地域にひらくメンタルヘルス啓発の可能性と課題―
　代表者　ヨン ロザリン　（秋田大学大学院 医学系研究科・特定非営利活動法人 光希屋(家)）

S-24　支える人のウェルビーイングを育む「応援体験」 ～身体で対話する「チア to チア」を体験してみよう
　代表者　古庄 美樹　（九州大学大学院芸術工学府・株式会社 MIKI・ファニット）
S-25　精神科医療を取り巻く諸問題に共通したものは家族支援である
　代表者　浅見 隆康　（メンタルプラス家族支援訪問クリニック）

S-26　知ってナットク！施設基準の管理と運用～多職種連携でひろげる「時々入院、ほぼ在宅」の地域づくり～
　代表者　和田 幸恵　（一般社団法人 日本施設基準管理士協会）

S-27　リカバリーに活かす対話法～動機づけ面接入門～
　代表者　槙 貴浩　（宮城県立精神医療センター）

S-28　弁証法的行動療法から学ぶかかわり方のヒント ～変化のタネの見つけ方～
　代表者　山崎 さおり　（長谷川メンタルヘルス研究所・
　　国立精神・神経医療研究センター 所沢市アウトリーチチーム）

S-29　はじめよう！続けよう！IMR 2026
　代表者　藤田 英美　（横浜市立大学附属病院 精神科心理室）

S-30　グループホームにおける世話人の学びをどう支えるか
　　―感情知性を育む「学びの広場」の実践とワークショップ―
　代表者　水野 高昌　（医療創生大学）

12 月 20 日（日）午後
S-31　「自分自身で、ともに」― べてるの家での対話実践（当事者研究・べてるの家の心理教育）
　代表者　中村 創（トキノ株式会社・社会福祉法人 浦河べてるの家）

S-32　パーソナル・メディスンを見つけよう！パーソナル・メディスン・コーチとともに
　代表者　坂本 明子　（(一社）Lilly of the valley・久留米大学 比較文化研究所）

S-33　制度だけが社会資源ではない ― インフォーマルな社会資源を再定義する
　代表者　岡﨑 幸治　（リカバリー福島当事者会）

S-34　地域における切れ目のない支援体制を考える－自治体アウトリーチ支援チームの実践報告から－
　代表者　西内 絵里沙　（国立精神・神経医療研究センター 所沢市アウトリーチ支援チーム）

S-35　IPS フィデリティレビューが育む組織文化 ―韓国・大同病院から学ぶ伴走型個別就労支援―
代表者　中原 さとみ　（桜ヶ丘記念病院）

S-36　立ち止まって支援を深める至福の７５分～診察室で考えていること（仮）　拡大版Ⅲ～
代表者　土田 正一郎　（JA 北海道厚生連 ニセコ羊蹄広域 倶知安厚生病院）